

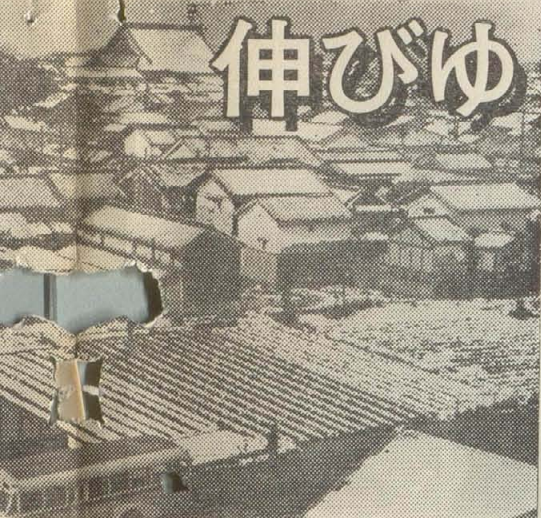
伸びゆくわたくしたちの町

市制20周年記念

ことし4月1日で20歳を迎え、たくましく成長する町。八尾は、いま育ちざかり、グングン発展をつづけています。

町の様相も市制発足当時とはぐっと変わり、都市としての形態も徐々に整備されつつあります。

今号は、この日の記念して、たくましく成長をつづける八尾の姿と過去のあゆみを、年表と統計でたどり、町のあちこちを写真で対照するとともに、明日の姿を絵で想像してみました。(写真左は26年ごろ市庁舎屋上から南西望む、右ことし2月同じ場所から)



たくましく青年都市へ成長

東に高安山がそびえ、南に大和川が流れるわたくしたちの町は面積四一、二五五平方、人口一八八、九八八人を数える府下第六位の中等都市として躍進してきました。

昭和二十三年四月、八尾市が誕生して以来、苦しい財政ながらも困難な健全財政を維持しつつ、教育施設の整備拡充、上下水道の拡張、下水道施設の普及、都市計画街路の建設、教育センターなどの施設の充実など着々と事業を進めています。

明日の八尾、はばたく基本計画もいよいよ実施

この間、昭和三十六年には大阪市と行政協定を締結し、市バスの乗り入れ、じんあい処理場の建設水道給水など広域行政の裏を上げると共に、昨年は明日の八尾の町づくりの方向を定める八尾市総合基本計画が策定され、本年から実施計画に着手されることとなりました。

二十周年を迎え、発足当時の田園都市の面影もまことに消えようとしています。この若いエネルギーを持つ八尾市は、いま基本的な諸施設と既成地域の整備を市政の根幹とする諸事業を進めています。

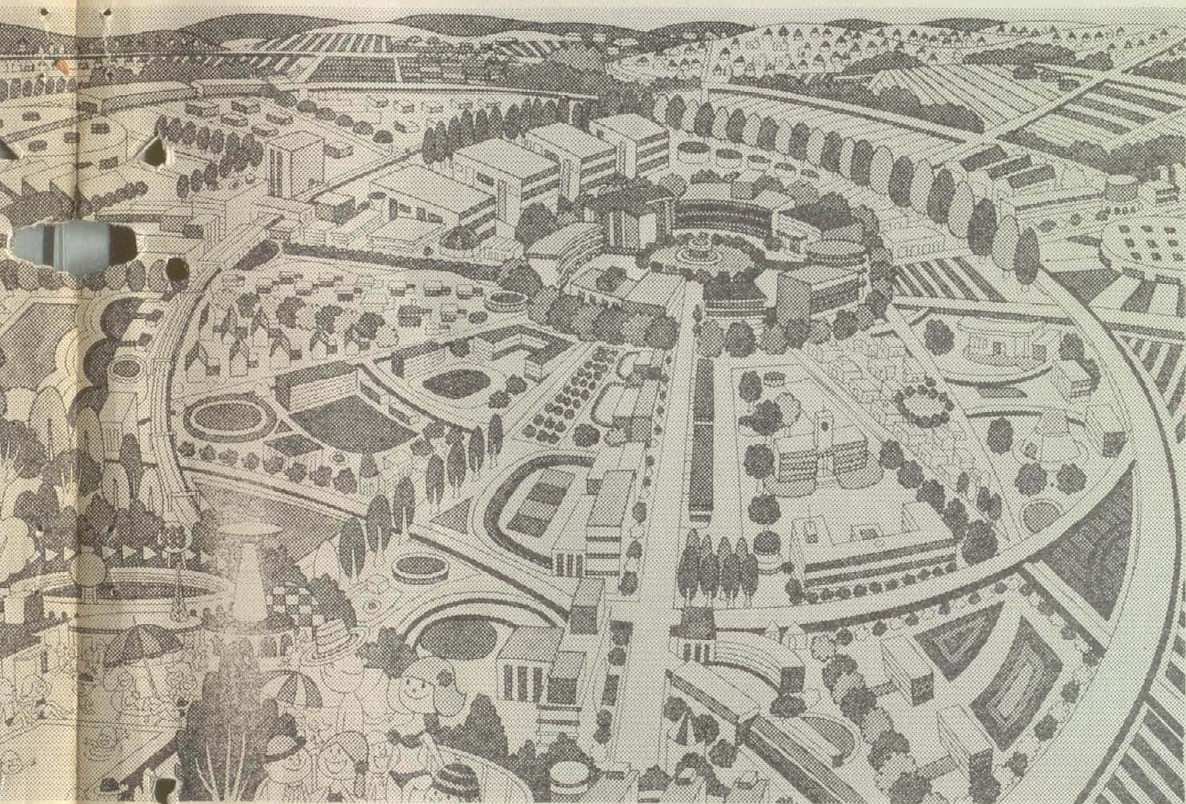
ゴパンの目に道路づくり

市南部を走る国道二十五号線、西部にのびる府道第一、豊中線のほか、国道百七十号線や府道や市道に車かひしめきあひながら終日数万台の自動車が行き交っています。

鉄軌道も、国鉄関西線、近鉄大阪線が通り、ラッシュアワーには

えています。この基本計画は、20年後の八尾の理想像をえがいたもので、この計画の完成する八尾はどうなるか漫画家の河村立司さんにその想像図をえがいていただきました。ぜひ、このような町にしたいものです。

尾をこのように



万円にのぼっています。

着々整備される生活環境

市民の生活を守る生活環境づくりは人口の増加とともに進められています。

下水道は、総配水量一五、五一五、三四七立方、年々水道使用量は高くなり、昭和四十五年には八万八千の需要を予想して、施設を整備、オートメーションの高安水場、低圧配水施設を建設、さらに高圧配水施設を建設します。

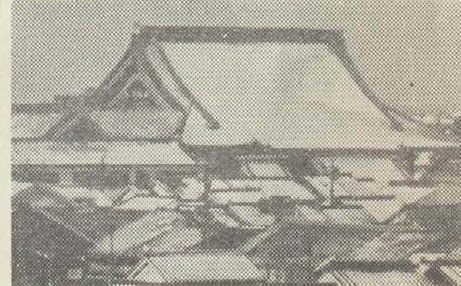
上尾町には、ゴミ処理場の処理場があります。市民の健康を守るために、市民みんなに健康保険に加入してもらう国民健康保険はことしから家族も七割給付ができるようになります。

また、死亡率の高い成人病を道放ししようと幡川地区からはじまった成人病検診を全市民を対象にしようとする検診地区を拡大しています。

予防接種をうける人もふえる一方です。検診車を導入します。治療機関である市立病院は、全館鉄筋化が完成、冷暖房装置もできました。現在の診療科目は内科、外科、産婦人科など科。主として入院患者の治療に当り、一日平均二四二八、外来患者の利用も年々ふえ、一日平均五五三人に精密検査や手術、診察が行なわれています。

学校の鉄筋化 順調にすすむ

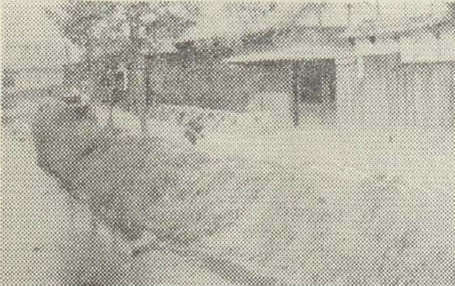
市内の学校は、幼稚園十七、小学校十六、中学校九、市立清友高等学校と府立六尾、山本高等学校と、山本町北七丁目北山本小学校と、山本町北七丁目北山本小学校の中心に、高尾小学校が来月から開校し、これで合わせて四十七校になります。



八尾御坊一通称「八尾御坊」として知られる大信寺【上】は昭和28年3月3日、突然大音響とともに本堂の大屋根が落ち、倒壊しました。これも一昨年、建て替え工事が完了、近代的なお寺【下】に生まれかわりました。



八尾警察署一市制発足と同時に市の自治体警察が創設され、翌年庁舎が建設された【上】しかし、29年府警に移管されましたが一昨年、庁舎も新しく建て替えられ、スマートな庁舎に生まれかわりました。【下】



長瀬川一その昔、船もみられたという長瀬川も、工場街の進出で年々よごれが目立ち、38年春、7年間にわたる三分水方式による改修工事が完成しました。【上】は改修前の長瀬川【下】改修後。



近鉄八尾駅前一八尾の表女 関近鉄 八尾駅前通り。道行く人もまばらなむかし【上】にくらべ、現在【下】は終日道いっぱいに車と人の波がたえることなく往来し、商店もくらべものにならぬほどふえています。



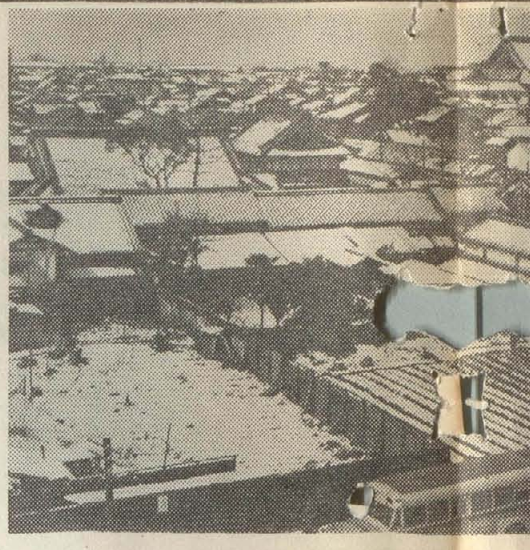
写真を見るときは

年譜と統計にみる20年のあゆみ

- ### 年 譜
- 23. 4 八尾市発足一八尾町、竜華町、久宝寺村、大正村、西郡村が合併
 - 5 初代市長に脇田幾松氏当選、市議会議員当選一36名
 - 24. 3 西郡小新築
 - 4 市時報を発刊
 - 6 亀井保育所できる
 - 12 竹瀬小できる
 - 25. 2 市立病院太子堂にできる
 - 4 用和小できる
 - 5 高松宮殿下ご来市
 - 6 大阪市バス(八尾あべの橋)開通
 - 8 近鉄八尾駅に準急停車
 - 9 ジェーン台風襲う、家屋倒壊 650戸竹瀬小新築
 - 10 市議会議員補欠選挙一2名
 - 市立病院がA級病院に指定
 - 12 国鉄八尾駅に快速停車
 - 26. 2 新市庁舎完成
 - 5 自治振興委員会生まれる
 - 6 成人学級開設
 - 広報車「うぐいす号」誕生
 - 9 西郷母子寮、同保育所できる
 - 11 日赤奉仕団結成
 - 27. 1 萱振に市営住宅30戸はじめて建設
 - 5 脇田市長再選、市議会議員当選一31名
 - 6 ダイナ台風襲う、736戸浸水
 - 7 近鉄バス(八尾山本花園)開通
 - 8 八尾高、全国高校野球で準優勝
 - 10 市制5周年記念式典
 - 11 市教育委員会発足
 - 28. 2 大正中移転改築
 - 3 八尾御坊が突然崩壊
 - 5 旧市立養老院できる
 - 9 府道大阪八尾間開通
 - 11 竜華小新築
 - 29. 4 緊縮条例制定
 - 7 市警廃止
 - 府警発足
 - 市議会議員補欠選挙一1名
 - 11 西郡保育所できる
 - 12 高松宮殿下市立病院ご視察
 - 30. 2 河内市三野郷一部編入
 - 4 南高安町、高安村、曙川村合併
 - 4 脇田市長三選、市議会議員当選一36名
 - 7 八尾飛行場農地解放決る
 - 沢の川商店街にアーケード完成
 - 8 八尾高、全日本高校女子ソフトボール選手権大会に優勝
 - 31. 1 金剛、信貴、生駒国定公園に指定
 - 3 八尾飛行場、民間空港として発足
 - 9 私立清友学園市に移管
 - 10 市内初の信号灯、太子堂交差点にできる
 - 山本球場近鉄から市に移管

昭23年	昭28年	昭33年	昭38年	昭42年
人 口				
64,431人	73,689人	112,898人	142,668人	178,741人
世 帯 数				
14,540	16,563	25,008	36,587	55,386
市 域 面 積				
18.986km ²	18.986km ²	41.050km ²	41.050km ²	41.255km ²
水 道				
	3.211km ³	5.433km ³	11.666km ³	17.700km ³
商 店 数				
	1,006	1,868	2,027	2,721
農 家 数				
4,066戸	3,999戸	3,675戸	3,303戸	3,283戸
工 場 数				
	343	712	921	1,348
火 災 数				
24件	29件	45件	110件	30件
交 通 事 故 数				
	53件	158件	776件	1,168件

- 12 八尾伝染病院できる
- 32. 1 今東光氏第36回直木賞受賞
- 3 信貴山ケーブル13年ぶりに復活、高安山に桜1万本植樹
- 4 志紀町合併
- 6 市内の電話、自動式になる
- 7 商工会議所新築
- 33. 2 高松宮妃殿下清友高校ご視察
- 4 近鉄バス(八尾太子堂平野)開通
- 議会だより発刊
- 6 国鉄バス(八尾吹田)開通
- 市制10周年水道施設20周年記念式典
- 11 曙川中できる
- 八尾市史発行
- 34. 4 脇田市長4選、市議会議員当選一36名
- 近鉄バス(八尾曙川恩智)開通
- 6 国民健康保険全域に実施
- 8 八尾高、全国高校野球に出場
- 35. 3 長瀬川改修工事八尾市域完成
- 5 福祉会館完成
- 八尾市史史料編発行
- 8 労働会館完成
- 12 第1期下水道事業に着手
- 36. 4 大阪市行政協定を結ぶ
- 9 第2室戸台風襲う
- 全壊175戸、半壊841戸
- 10 国鉄志紀駅復活
- 11 故羽多野議長の議会葬
- 37. 2 西郡小焼失
- 6 衛生処理場完成
- 38. 1 市立隣保館桂町に開設
- 4 15周年記念式典
- 市長に大橋清治氏当選、市議会議員当選一36名
- 39. 4 松原市北若林地区を編入
- 恩智教育キャンプ場一般開放
- 11 脇田前市長名誉市民となる
- 市民憲章宣言大会
- 東洋の魔女ニテポーバレーボール選手団来市
- 40. 4 毎月1日を「防災の日」に定める
- 6 ごみ収集車にチャイムメロディ
- 7 労働会館分館植松にできる
- 11 第1回市民スポーツ祭開く
- 12 初の空気汚染度調査一太子堂交差点は梅田新道並み
- 41. 3 第1回史跡めぐり
- 6 大阪市清掃局八尾工場できる
- 常陸宮ご夫妻ご来市
- 10 養護老人ホーム心合寺山にできる
- 42. 4 教育センターできる
- 大橋市長再選、市議会議員当選一36名
- 9 東大阪市と消防相互応援協定結ぶ
- 保健文化賞受ける
- 43. 1 国民健康保険オール7割給付実施
- 八尾小一部焼失
- 2 故脇田名誉市民の市葬



青年都市、八尾は毎年、人口が1万人も増え、若い力で満ちています。市では、この力を正しい方向に導き、八尾を「緑と空間に満ちた町」にするため、総合基本計画をつくり、ことしから実施計画をたて、明日の八尾に備

20年後の八尾をこ

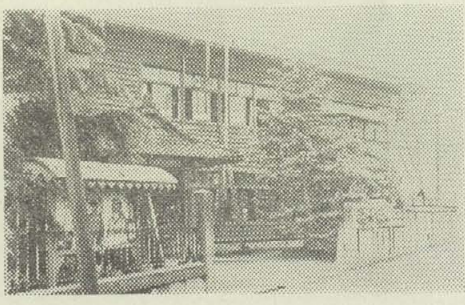


来月から開校し、これにて四十七学校園になります。児童の増加は激しく、これら七小で普通三十五教室、特別十八教室を増築、増中では普通二教室、特別二教室の増築、南高安幼の移転新築、安中幼の増設で五教室を建設します。

社会教育施設として、市民のたれも利用できる文化と体育の殿堂、市立教育センター、市民の野球場、市立山本球場、夏には青少年でいっぱいになるキャンプ場のほか大畑山会館、弓道場、剣道場があります。



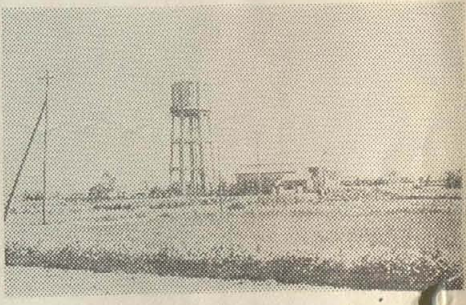
市議会議場—現在の庁舎ができた直後に開かれた市議会の本会議場風景【上】と現在の【下】の議場。



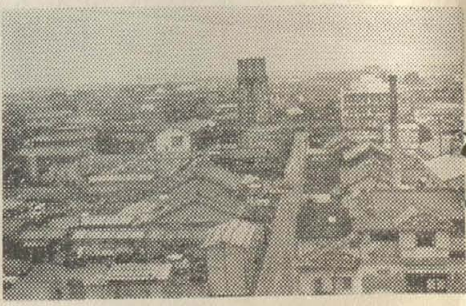
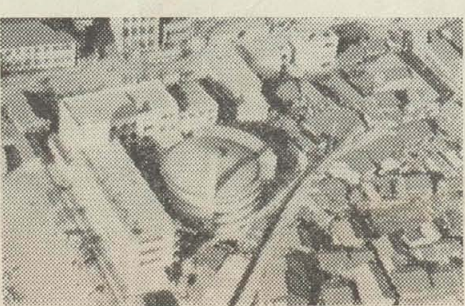
市庁舎—5カ町村合併した際、一番中心部にあった八尾町役場【上】が市庁舎に当てられましたが、合いつぐ合併、事務量の増大で現在では鉄筋4階建ての庁舎に生まれ変わっています。【下】



市立病院—市制発足とほぼ同じ時期に日本医療団八尾病院を母体を開かれた当病院も当時の5科、32床の小病院から10科、365床、鉄筋建ての近代的な建物【下】に育ちました。



光南町付近—中心部の市街地は大きく変ぼうしています。光南町にある水道局の給水塔がポツンと立っている頃【上】と現在【下】とくらべてみてください。よく変わったものです。



写真—見る—

